

【概要版】川崎市の公園緑地の魅力向上に向けたサウンディング型市場調査について

1. 背景・目的

都市における貴重な緑とオープンスペースである公園では、一部においてその機能を十分に発揮できていない公園や老朽化の進行した施設を有する公園などがあり、公園の機能の保全や質の向上を図ることが課題となっている。そのため、公園の整備・管理運営を着実に行うとともに、さらなる魅力向上に向けた取組を進めていくことが必要である。

また、樹林地等については、緑地保全の進展に伴い、保全活動の継続とともに、新たに樹林地等の利活用による適正管理の推進が重要であり、その取組を持続的なものとするには、次世代の担い手となる子どもたちがのびのびと自然にふれあい、成長できる機会を創出することが必要である。

以上のような状況を踏まえ、公園のさらなる魅力向上や自然の特徴を活かした遊び場の創出により、都市の魅力の向上やまちの賑わいの創出、地域コミュニティの活性化を図るため、民間事業者等から幅広いアイデアや事業についての提言、川崎市への要望等をお聞きするサウンディング型市場調査を実施し、市内の公園緑地への民間活力導入の可能性や今後の取組の方向性について検討する。

サウンディング型市場調査とは：

個別の事業の必要性に応じて実施される検討プロセスの一つ。民間のノウハウを最大限に活用するため、市場ニーズの確認やアイデア収集、民間の意向把握等のために行うもの。

2. 調査対象

(1) 調査の対象公園緑地

川崎市が管理する全ての公園緑地

※県立公園及び港湾緑地、個別に民間活力導入に向けた取組を推進している公園緑地（等々力緑地、夢見ヶ崎動物公園）は対象外

<主な対象公園>



富士見公園

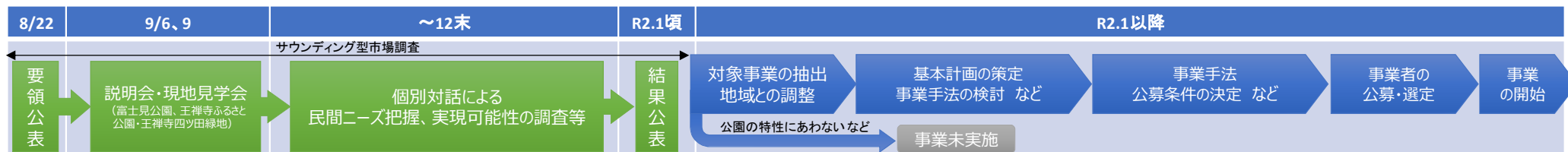


王禅寺ふるさと公園・王禅寺四ツ田緑地

(2) 調査の対象者

自らが主体的に事業を実施する意向のある、法人格を持つ民間事業者（NPO法人その他の団体を含む）またはそのグループ。業種、業態は問わない。

4. スケジュール、今後の進め方（予定）



3. 求める提案内容

(1) 公園の利活用

□公園のさらなる魅力向上 賑わいや憩いの創出、利用者の利便性向上につながるような、公園の特色や地域の特性を活かした公園施設の整備や公園の維持管理、運営、オープンスペースの有効活用等により、公園機能を向上させるとともに、公園の新たな魅力の創出や地域の活性化を図るもの。

<公園の利活用方法の例>

- ・新たな公園施設の整備
- ・既存施設のリニューアル
- ・定期的なイベント開催 など



飲食施設の整備



イベントの実施

(2) 保全緑地の利活用

□自然の特徴を活かした遊び場の創出 次世代の担い手となる子どもたちの情操教育や防災意識の向上、健全な心身の成長につながるような、自然をそのまま活かした自由に遊べるフィールドを創出し、緑地の保全と利活用による適正管理の推進を図るもの。



冒険心に満ちた遊び場



自然を活用した遊び場



デイキャンプ